



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

2025年度

支援を必要とする子どもの就学について

1 様々な学びの場について

川崎市教育委員会

川崎市総合教育センター



動画と合わせて配布資料も御覧ください。

資料は、
川崎市総合教育センターのホームページより
ダウンロードできます。



様々な学びの場 (資料P1~)



Ⅰ 通常の学級について (資料P1)



学区の小学校(資料P1)

- 住所で指定されている学区の小学校への就学が原則です。
- 学区は、川崎市のホームページで確認できます。
- 学区の小学校には、「通常の学級」と「特別支援学級」があります。



通常の学級(資料P1)

- 市内の市立小学校・中学校に設置されています。
- 小学校学習指導要領に沿った教育が行われます。
- 通常の学級は、基本的に35人までで1学級が編制され、担任は1名です。
- 各学校に相談窓口の支援教育コーディネーターがいます。お子さんに必要な支援や、各学校で可能な支援について相談しましょう。



通常の学級における支援(資料P1)

- 担任による支援(座席の配慮、個別の言葉かけ等)が基本となります。
- お子さんと学校の状況に応じて、複数の教員による授業(チームティーチング)や別の場で個に合わせた分かりやすい指導などが行われる場合もあります。

学校の状況によって校内支援体制は様々です。
学校見学や個別の教育相談の時に聞いておきましょう。



通常の学級における支援(資料P1)

小学校の通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童を対象として、大部分の授業を在籍校で行いながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を定期的に受ける通級指導教室もあります。



ある小学校の時間割(例)

	月	火	水	木	金
	あ さ の か い				
1	こくご	さんすう	こくご	さんすう	こくご
2	さんすう	こくご	さんすう	こくご	たいいく
	なかやすみ				
3	こくご	せいかつ	ずこう	さんすう	せいかつ
4	おんがく	たいいく	ずこう	たいいく	せいかつ
	き ゆ う し ょ く				
	せ い そ う				
	ひ る や す み				
5	たいいく	がっかつ	おんがく	こくご	どうとく
	かえりのかい				



2 通級指導教室について (資料P1)



難聴

市立聾学校に設置

- ⑩ 補聴相談、聞こえにくいことに起因する対人関係面や学習面の遅れがあるなどの心配がある場合

言語

各区に1教室設置

- ⑩ 発音に誤りがある、話すときに言葉がつまったり同じ音を繰り返したりする、言葉の遅れがある、知的な遅れはないが読み書きが苦手、聞き誤りや聞き返しが多いなどの心配がある場合

情緒関連

各区に1教室設置

- ⑩ コミュニケーションのとり方に困っている、場面の切り替えが苦手、集団に入りにくい、感情のコントロールがしにくいなどの心配がある場合



通級指導教室(資料PI)

	難聴	言語	情緒関連
川崎区	聾学校	川崎小学校	川崎小学校
幸区		御幸小学校	御幸小学校
中原区		東住吉小学校	東住吉小学校
高津区		久本小学校	久本小学校
宮前区		宮前平小学校	富士見台小学校
多摩区		三田小学校	東生田小学校
麻生区		はるひ野小学校	はるひ野小学校



通級指導教室(資料P1)

- 在籍校から通級指導教室設置校に週1回1時間程度通い困難さの改善に向けた指導を受けます(設置校方式)。
- 指導内容やお子さんの様子、学校の状況等により、通級担当者が在籍校を訪れ、在籍校の一室で指導を受ける場合もあります(巡回方式)。



通級指導教室(資料PI)

- 教科学習の遅れを補充するための学習指導は行いません。
- 設置校方式か、巡回方式か、どちらの方式で指導を行うかは、個別の指導計画に基づき、通級指導教室が決めていきます。
- 個別指導を原則としますが、小集団の指導を併せて行うこともあります。
- 通級指導教室設置校への登下校は、保護者等の付き添いが必要です。



通級指導教室を利用した時間割(例)

	月	火	水	木	金
	あさのかい				
1	こくご	さんすう	こくご	さんすう	こくご
2	こくご 送迎	こくご	さんすう	こくご	たいいく
	なかやすみ				
3	こくご 通級指導	せいかつ	ずこう	さんすう	せいかつ
4	こくご 送迎	たいいく	ずこう	たいいく	せいかつ
	きゅうしょく				
	せいそう				
	ひるやすみ				
5	たいいく	がっかつ	おんがく	こくご	どうとく
	かえりのかい				



通級指導教室センター的機能(資料P1)

- 通級指導教室での指導に合わせて、通級指導教室センター的機能担当教員が通級指導教室を利用している児童の在籍校との支援連携（支援教育コーディネーターへの助言等）を実施しています。



3 特別支援学級について (資料P2)



特別支援学級(資料P2)

- 通級指導教室よりも、学校生活全般に支援が多く必要な場合、特別支援学級という学びの場があります。
- 市内の市立小学校すべてに設置されています。
- 障害の状態や必要な支援によって学級が編制されています。

知的障害 肢体不自由 病弱・身体虚弱
弱視 難聴 自閉症・情緒障害



特別支援学級(資料P2)

- 学級種別ごとに8名までで1学級が設置され、担任は1学級1名が原則です。
- お子さんの実態と学校の状況に応じて教育課程を編成し、学習面、生活面、行動面、対人関係面など幅広く指導します。
- 多くの学校では、小集団指導や集団学習を中心に、必要に応じて個別の課題に応じた学習の時間を取り入れています。
- 交流及び共同学習(通常の学級での学習)は、お子さんの状況と学校の状況から内容や形態について、学校と相談します。



特別支援学級の時間割(例)

★印は交流の時間

知的障害特別支援学級の例

月	火	水	木	金
日常生活の指導(朝の会など)				
国語	算数	★生活	国語	★音楽
★音楽	★図工	生活単元 学習	★体育	算数
★生活	国語		自立活動	国語
算数	★体育		道徳	★図工

自閉症・情緒障害特別支援学級の例

月	火	水	木	金
国語	国語	★生活	道徳	★図工
算数	算数	★体育	★生活	★図工
★体育	★生活	国語	国語	★体育
自立活動	★国語	算数	算数	国語
★音楽	★学活		★音楽	算数



特別支援学校地域支援部センター的機能(資料P2)

- 市立特別支援学校地域支援部担当教員がセンター的機能として、特別支援学級に在籍する児童の支援連携（特別支援学級の教員への助言等）を目的とし、市立小中学校の特別支援学級に訪問支援を実施しています。



4 県立・市立特別支援学校

小学部について (資料P3)



特別支援学校(資料P3)

- 特別支援学級より支援が多く必要な場合、特別支援学校小学部という学びの場があります。
- 川崎市には、知的障害教育部門、肢体不自由教育部門、聴覚障害教育部門の特別支援学校があります。障害の状況によって教育部門が異なります。



特別支援学校(資料P3)

- 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門が設置されている特別支援学校は、支援ニーズの高い児童が対象です。
- 多くの場合、「自立活動」「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」などを中心とした教育課程を編成しています。



特別支援学校(資料P3)

- 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門設置の特別支援学校では、教育部門ごとにそれぞれの通学地域を定め、スクールバスを運行しています。運行している地域と経路は、ある程度決まっています。



特別支援学校(資料P3)

- 特別支援学校の教員配置基準で教員が配置されています。
- 各学校の入学予定者数は、ある程度決まっています。



特別支援学校(知的障害教育部門)の時間割(例)

	月	火	水	木	金
9:10	朝の会(着替え・排泄・朝の会 等)				
10:15	個別学習・動きづくり				
10:50	音楽	体育	課題学習	生活	わくわく タイム
11:40	給食指導(給食準備・給食・給食かたづけ・歯磨き 等)				
13:00	帰りの会	生活	帰りの会 (着替え・排泄・帰りの会等)		
13:30					
13:45	帰りの会				



教育部門	学校名	場所
知的障害	県立鶴見支援学校	横浜市鶴見区
	県立高津支援学校	高津区
知的障害・ 肢体不自由 併設	市立田島支援学校 桜校 ※	川崎区
	市立田島支援学校 さくら分教室	川崎区
	市立中央支援学校 大戸分教室	中原区
	市立中央支援学校 稲田分教室	多摩区
	県立麻生支援学校 ※	麻生区
肢体不自由	県立中原支援学校 ※	中原区
聴覚障害	市立聾学校	中原区
視覚障害	県立平塚盲学校	平塚市大原
	横浜市立盲特別支援学校	横浜市神奈川区

※印の学校では、訪問による教育が行われています。医療的ケアが必要な児童生徒のために看護師を配置しています。市立特別支援学校では、医療的ケアが必要な児童生徒の状況に応じて看護師が学校を訪問してケアを実施しております。



5 医療のサポートについて

(資料P3)



(1) 入院して治療をしている方への支援

入院などにより通学が困難な児童のため、院内学級や訪問による教育があります。

(2) 医療的ケアが必要な方への支援

市立学校では、医療的ケア児への必要な支援を行っています。

個々の状況については、就学相談の際にお話してください。



次は
「支援を必要とする子どもの就学について 2」
の動画に続きます。

検討されている学びの場によって
就学相談の流れが異なります。

A、B、Cの中のどれにあたるかを確認し、
該当する動画を御覧ください。

特別支援学校を検討している方

特別支援学校か特別支援学級か迷っている方

特別支援学級を検討している方

特別支援学級か通常の学級か迷っている方

幼稚園や保育園等で個別に加配教員が付くなどのサポートを受けており、小学校生活に心配がある方

通級指導教室の利用を検討している方

通常の学級を検討している方

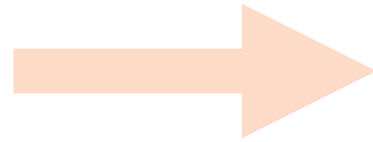
2-A
Aの就学相談の流れ

2-B
Bの就学相談の流れ

2-C
Cの就学相談の流れ

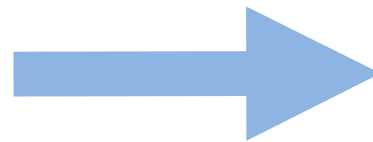


Aの就学相談の流れ



川崎市 支援を必要とする子どもの就学について
2-Aの動画

Bの就学相談の流れ



川崎市 支援を必要とする子どもの就学について
2-Bの動画

Cの就学相談の流れ



川崎市 支援を必要とする子どもの就学について
2-Cの動画



Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

